**グラバー園の概要**

庭園内の建物はすべて、19世紀末頃に建てられたもので、当時の長崎で最も影響力のあった人々や団体が所有していました。グラバー園は1974年9月4日、明治時代(1868~1912年)に長崎に建てられた建物を紹介するために一般公開された。1970年初頭、日本政府は旧オルト住宅、旧グラバー住宅、旧リンガー住宅を重要文化財に指定し、長崎市は他の歴史的建造物をこの地域に移して「庭園」を作成した。

グラバー園は南山手丘陵の一角を占め、その名の由来となったトーマス・B・グラバー(1838~1911年)をはじめ、長崎居留地のリーダーたちが多く暮らしていました。グラバーはスコットランドの実業家で、1859年に来日、急速に現代化した日本で大成功を収めた。

2015年、旧グラバー住宅は、グラバーの人脈と日本の近代化への影響を評価され、鉄鋼、造船、石炭鉱業などの日本の明治産業革命遺産として世界遺産に指定されました

--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

|  |  |
| --- | --- |
| 採用番号NO： | 023-005 |